

公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 2020 年度事業実施における特別方針

■ キャンプ事業

○ 予定していた従来のキャンプ実施は、原則中止いたします。

(キッズ・ファミリー・レスパイト・グループの 4 種類、夏季冬季通じて 9 回のキャンプを予定)

○ 試行予定だった、馬アクティビティ中心のワンファミリー・デイキャンプの準備作業は継続します。

↑ キャンプ場近隣居住者から参加家族(1 家族/日)、ボランティアスタッフ(1 名/日)を募る計画。

※ 感染拡大状況を注視しながら募集地域の範囲を都度設定し、状況が許せばキャンプを実施。

■ キャンパーフォロー他

- ・ 全国各地の長期入院中の子どもたちへ、病室で遊べる北海道動物のウォールステッカーを贈る。
- ・ 外出しにくい状況になっている全国各地の元キャンパーに対し、気分転換にもつながるような、交流を行う。(ウォールステッカー・お家キャンプ用品のプレゼント、キャンプ思い出ヒアリング他)

■ 医療食事

- ・ 世界中から最新情報を収集し COVID-19 感染対策をマニュアル化、都度バージョンアップする。
- ・ キャンプ場施設、職員や来訪者(ボランティア、参加家族)に対し、上記感染症対策を徹底する。

■ プログラム関連

「馬アクティビティ」

- ・ 常駐セラピー馬2頭の飼育管理のため、近隣居住ボランティアを募集・育成する。(原則1名/日)
- ・ 常駐セラピー馬の訓練のため、日帰り・馬アクティビティを試行する。(近隣居住の1家族/日)
- ・ 馬場においては、馬の常駐、日常の運動訓練、馬アクティビティに適した土壌改良を試行する。

「その他アクティビティ」

- ・ 森、ガーデン等、環境整備や運営方法を見直し、公表版アクティビティガイドとして整理を始める。

■ ボランティア

- ・ ボランティア登録情報のデータベース(カルテ)システムを構築するとともに、ボランティア全体の募集・運営方法の見直しを行い、効率・効果的な手法にバージョンアップさせることに取り組む。

■ 施設維持管理

- ・ 専用建物群の耐久性向上のため既存建物屋根及び外壁の塗装工事等、各種メンテナンスを行う。
(FY 2020: 食堂浴室棟、宿泊棟2棟 FY 2021: 事務棟、医療棟)

■ 広報 PR・ファンドレイジング

- ・ インターネット(世界情報通信網)上で効果的に活動が行えるよう、HP や SNS、動画、寄付決済など、様々なツールを見直し、バージョンアップする。(運営体制、費用対効果等も同時検討必須)

■ シリアスファンチルドレンズネットワーク(SFCN)との連携

- ・ ネットワーク内で COVID-19 の情報交換を行い医療ケア付キャンプ場の方針策定の参考にする。

以上